

■はじめに

「小平 市民版環境配慮指針 小平流暮らしの工夫」は、市民団体であるエコダイラネットワークが主体となって作成した、環境に優しい暮らし方のアイデア集です。

この内容を、家庭生活や学校生活での実践につなげてもらうことを目的に、小平第二小学校で出前授業を実施しました。

この授業は、小学校や大学、市民団体と連携し、多様な主体の参加と協働によって進めることができました。

■出前授業の概要

テーマ	環境に優しい暮らし方～今日からわたしにもできること～
目標	環境意識を高め、自ら「地球に優しい行動」ができる児童の育成
対象者	小平第二小学校5年生（3クラス）91名
日程	平成30年7月19日（木）

■内容

第1部 「地球温暖化問題とその対策について」

①地球温暖化について

海面上昇、干ばつ、砂漠化、集中豪雨など、世界で実際に起こっていることや起こる可能性があることを例に挙げて、地球温暖化が私たちの生活にどのような影響を与えるかを話しました。

では、地球温暖化はなぜ起きているのでしょうか。それは、地球のまわりをおおう温室効果ガスが原因でした。



この温室効果ガスとは、二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素などの地球温暖化に影響のあるガスのことです。

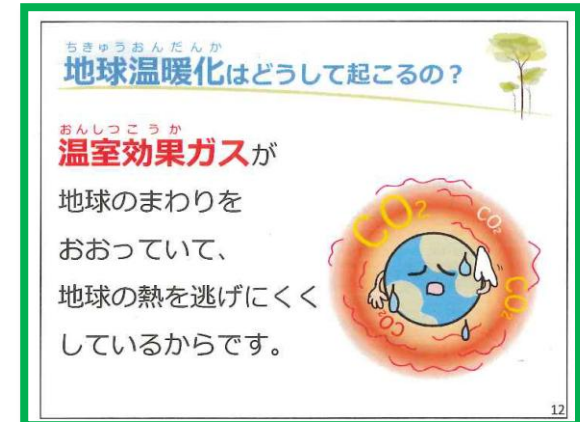
このガスの中でも一番多く発生して、最も地球温暖化に影響をもたらしているのが、二酸化炭素です。

この二酸化炭素はどこから発生しているのか。それは私たちが暮らしていく中で毎日使っている電気をつくるときに発生していました。つまり、電気を使うたびに、二酸化炭素は発生し、私たちが暮らしているだけで、地球温暖化を進めています。

そこで地球温暖化が進まないように私たちができる行動は電気の使う量を減らすこと、「省エネ」です。

②電気を作ってみよう

手回し発電機を使って、電球を光らせてみました。光らせる電球は、白熱電球とLED電球です。白熱電球は、速く回しても、わずかに光る程度で、周囲を明るく照らすことはできませんでした。LED電球は、速く回すと明るく光りました。



手回し発電の様子

二つの電球の違いは、光るために必要な電気の量です。LED電球は白熱電球の6分の1になります。電球を替えるだけでも「省エネ」になります。

第2部 「節電するにはどうすればいいの？」

①太陽光発電について

太陽光発電システムは、地球温暖化の原因となる二酸化炭素を発生させずに、電気をつくることのできる省エネ機器であることを説明し、実際に校舎の屋上に設置してある太陽光パネルをみんなで見に行きました。グループに分かれて、実際に見たり、触ったりしながら、工学院大学の学生から太陽光パネルの説明を受けました。



②班対抗「省エネクイズ」

消費電力や省エネの方法など、6問の省エネクイズを出題しました。班のみんなで相談しながら楽しんで、学んだことを復習できました。正解数が一番多かった班には、景品があったこともあり、白熱した時間になりました。



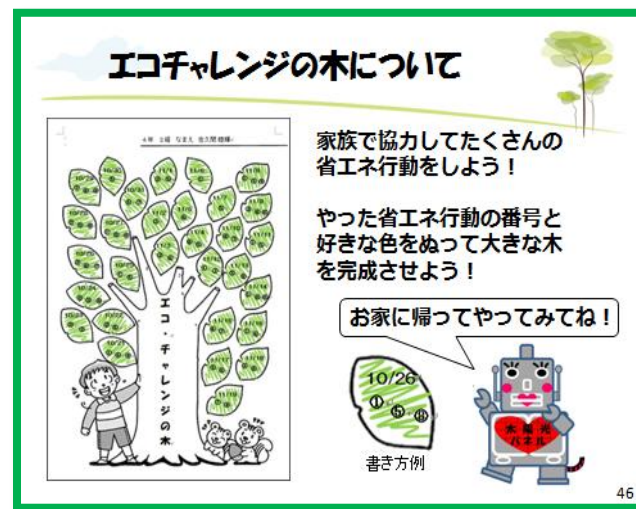
③『市民版環境配慮指針』のご紹介

市民版配慮指針を作成した市民団体のエコダイラネットワーク代表の西村さんとおすすめの取組を紹介しました。おすすめの取組とは、災害に備えることが実はエコにも繋がるというお話でした。その他にも食事や掃除、買い物など、私たちの暮らしの中の様々なシーンで「省エネ」ができることを紹介しました。



④エコチャレンジの木

今回の環境出前授業で、学んだことを日々の実践につなげるため、児童の皆さんにエコチャレンジの木に取り組んでもらいます。チャレンジ期間は1カ月です。家庭で行った省エネ行動の番号と日付を葉っぱに記入し、色を塗ってもらい、きれいなエコチャレンジの木を育ててもらいます。児童の皆さんの取組できれいなエコチャレンジの木が育つのが楽しみです。



おわりに

今回の授業の発電体験や省エネクイズ等をとおして、地球温暖化問題や対策について学習しました。「省エネ」という自分たちの暮らしの中でできることを『市民版環境配慮指針』を参考にエコチャレンジの木に取り組むことで、おのずと環境に配慮する行動を児童一人ひとりが意識し、実践し、当たり前となる行動となることが期待されます。多様な主体の参加と協働により、『小平市第二次環境基本計画』の基本目標の一つである「みんなが環境について考え、行動するまち こだいら」を一歩進めることができました。

小平第二小学校出前授業パートナーシップ

小平第二小学校教員、工学院大学の教授及び学生、エコダイラネットワークメンバー、環境政策課職員